

2010年3月18日
中国自動車調査月報編集長 周政毅

中国、出荷台数でこれまで首位独走 VW が 2 月、月間3位転落

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、当社の調査・出版業務にご協力頂き、誠にありがとうございます。

さて、当社では毎月、CAAM（中国汽車工業協会）から提供される生産・出荷台数の統計データを取りまとめており、2010年2月分のデータでは、乗用車出荷台数の順位が大きく変わったことをご案内申し上げます。

**B-MPV 大手の長安と五菱がこれまで首位を独走してきた VW を越え上位 2 位に躍進
トヨタはブランド単独で 4 位を堅持するが 1 月 5 位現代自との差が接近から再び引き離し
小型車志向の高まりを背景に上位 10 ブランドに中国系 4 社がランクイン**

ご存知のように 2009 年には中国政府が自動車の買い替え現金インセンティブの支給を機に農村市場や地方都市における自動車販売が年率 50%を超える成長が多く見られました。

その中で勢いをつけたのは、乗貨両用車大手の長安と五菱の 2 社であります。両社とも 2009 年に新鋭工場を稼働させており、急激な増産体制を急いでいます。

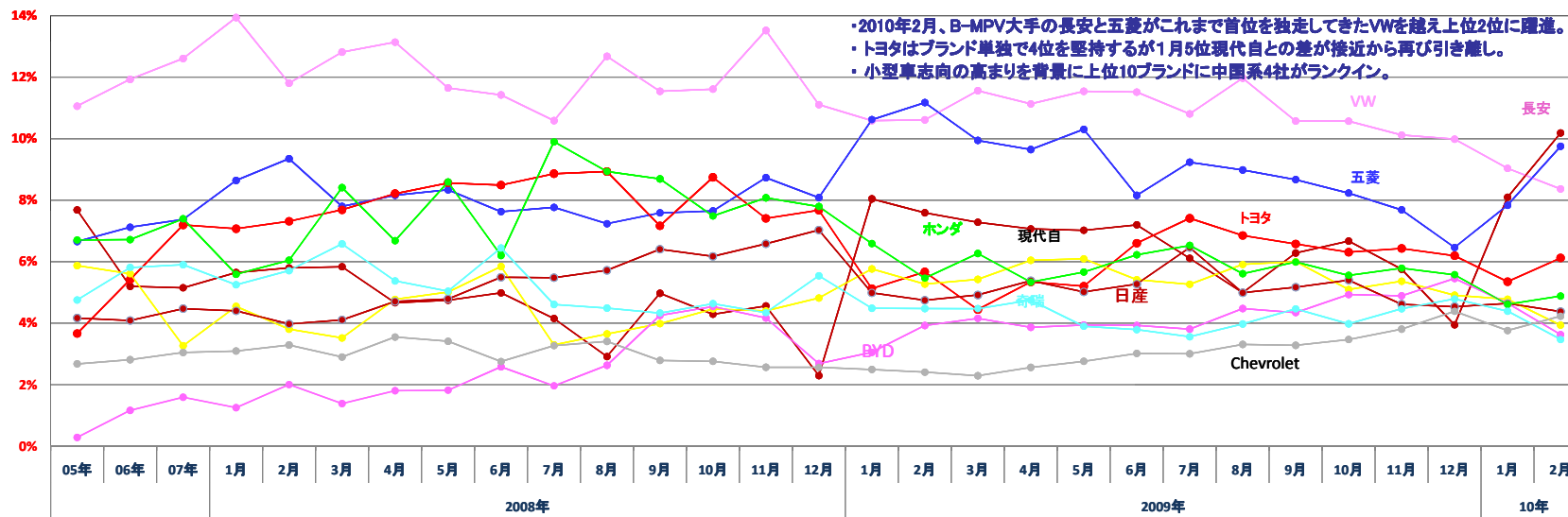
一方の VW は、小型乗用車を中心に拡販しているものの、農村市場向け製品を持たないことから 2010 年 2 月にはとうとう長安と五菱の 2 社に台数規模で圧倒されました。

また、トヨタは 1 月、健闘を続ける現代自に格差を縮められたものの、2 月再び突き放した形となりました。3月初めには、リコール問題で豊田章男社長が北京訪問と謝罪の記者会見を行っており、当月の結果が興味深いところです。

2010 年の中国自動車市場は、当社を含めて大方の予想では 1,500 万台の大台にのる見通しですが、2 月までの速報値を見る限り、日系各社のシェアがさらに低下することは避けられない情勢になっています。

当社は3月18日現在、本情報をホームページ「今週のFOURINグラフ」に掲載していますが、PDFをこのニュースリリースにも添付させていただきます。ご不明な点やご質問がありましたら、「FOURIN中国自動車調査月報」編集長の周政毅（中国調査部TEL : 052-789-1186、FAX : 052-789-0967、E-mail : s.shu@fourin.com）までご連絡ください。

年販1500万台 (CAAM推定) に再加速する中、欧米日韓がシェア低下模様、民族系2社が急進



【中国、乗用車工場出荷台数のトップ10ブランドシェア推移 (2005～2007年/2008年1月～2010年2月)】